



広報 第五号

# さくら前線

## 「看取り」の場としての在宅



院長 茂呂 勝美

さくらライフ江戸川クリニック

近年、高齢者人口の増加とともに、亡くなる方の人数も急激に増加してきています。また、現在、多くの方が病院で亡くなっている反面、最後を自宅で迎えたいと考えている方が多いのも事実です。

自宅で最後まで過ごすのは、敷居が高いと考えて、はじめからあきらめる患者さんがいますが、経験豊富な医師、看護師、ケアマネージャー、ヘルパー、薬剤師等の多職種がそろえば、病院で過ごす以上のことができるかもしれせん。もちろん入院中のような高度な検査、治療を継続することは不可能ですが、在宅看取りでしかできないことも多いと思います。家族が寄り添えるというだけではなく、ペットと一緒に過し

たり、好きなものを食べたり、飲酒や喫煙といったこともできるのです。

必然的な死から逃れることはできません。しかし、患者さんや家族の希望や幸福を考え、満足し納得しうる人生の最終段階を過ごせたら、その患者さんは決して不幸ではないと考えています。また、それにかわつたすべての業種の人々も、質の高い看取りができたことへの満足を感じることができはらずです。

さくらライフでは、そういったチームが組める人材がそろっており、今後多業種の方たちと一緒に仕事をしていきたいと思えます。



### 施設紹介

新緑の色増す季節になりました。月日が経つのは早いもので、さくらライフ江戸川クリニックは2016年に江戸川区中央に開院し今年で4年目を迎えます。当院は訪問診療（在宅診療）に特化した専門クリニックです。



### 当クリニック（在宅診療）の特徴

#### ○訪問診療に特化

通院困難な方以外でも無理に全てを訪問診療に切り替えず専門医への外来通院を継続される場合でも訪問診療可能

#### ○診療科目は内科・精神科・心療内科

#### ○訪問エリアは江戸川区全域・葛飾区全域

#### ○月2回程度（2週間に1回）の定期訪問

#### ○24時間 365日対応

体調の急変時や休日・夜間でも必ず連絡に応じいつでも往診の出来る医療体制

#### ○他の医療機関・訪問看護ステーションを

はじめ、ケアマネージャー・薬局・介護・福祉など在宅療養に関わるすべての業種スタッフとの連携を重視しています。

#### ○訪問診療のための交通費は不要です。

※他院にてお断りされた患者様も

まずは当院までご相談ください。

患者様が最後まで住み慣れたご自宅等で希望に沿ったご自分らしい生活を「安心」して送れる

よう微力ながら療養生活をサポートさせていただきます。

患者様の「心配・困り事」「家に居たい」を支えます。



# 広報 さくらの木

## 2020年 6月号



### 🌸 日々の過ごし方について 🌸

こんにちは。5月中旬より、日差しも強くなってきました。コロナウイルスによる自粛生活、どう過ごされていますか？運動不足な方も多いと思います。暑いからと言って、お家の中でクーラーをつけて過ごしていると、体力低下・骨粗鬆症・免疫力低下などの、いろいろな病気を発生の原因になります。そこで、気を付けていただきたいポイントをあげてみます。

① **こまめな水分補給** 汗をかくことで、電解質も失ってしまいます。ポカリスウェットなど、電解質の入った飲料水をお勧めします。また持病で、高血圧症・糖尿病などをお持ちの方は、必ず医師に相談をしてください。

② **適度な運動** 暑い日中は避けて、気温があまりない時間帯の運動などで工夫をしましょう。また、ラジオ体操などの活用もいでしょう。また、医師から運動制限を言われている方は、行う前に必ず相談をしましょう。

③ **バランスの取れた食事** 暑い日は食欲がなく、つい冷たい物を摂取しがちです。食欲がなくても、バランスのとれた食事を心がけることで、夏風邪などの予防になります。

④ **より良い睡眠** 睡眠をとることで、体の疲労をリセットします。明日への活力のため、睡眠時間を6時間以上は取りましょう。

最近問題になっているのは、マスクをしながらの運動です。マスクは、熱がこもりやすく、熱中症のリスクを高めます。運動する際は、注意しましょう!! まだまだ続く自粛要請、ストレスも溜まり気味ですが、うまくこの時期を乗り越えたいものです。

※4月より厚生労働省より保険の改正がありました。請求金額が異なる場合があります。ご不明な点がございましたら、医事課までお問合せください。



### 放射線科の紹介



### 放射線機器について



初めまして放射線科です。現在放射線科は2名で業務に取り組んでいます。放射線の中のX線は体内を透過することができます。体の中には骨や心臓、肝臓、腎臓等の臓器や血管や空気などがあります。それぞれX線透過率が違います。この透過率の違いを利用して写真にします。骨はX線が透過しにくいので白く空気は透過しやすいので空気が多い肺は黒く描出します。放射線科の仕事は、放射線を使用して人体を画像化したり治療したりします。当院では治療の機械はないので画像化することが仕事となります。当院にある放射線機器について説明させていただきます。放射線の中のX線を使用して人体を透過した光子を画像化します。一般撮影装置、CT撮影装置、X線テレビ装置等があります。レントゲンと言うと、一般撮影の写真を思い描く方が多いと思います。長所は被曝線量が少なく、撮影時間が短い。胸や骨等を撮影し健康診断でも使用されています。CTは一般では分かりにくいような小さな病変や奥行き等が立体的に分かります。テレビはMDL(胃透視)等で使用されリアルタイムで観察することができます。放射線科は撮影技術の向上だけではなく読影能力も向上させ病変を分かりやすく描出するために日々精進していきます。



### ～診療案内～

診療担当医師表は受付窓口にて配布しております。

必要な方はご遠慮なくお申し付け下さい。

また随時ホームページにて休診案内を更新していますので、そちらもご確認下さい。

お問い合わせ番号 (048-746-7071)



HP アドレス

(<http://www.k-sakurahosp.com/>)

HP QR コード→



診療担当医師表 QR コード→

